



BeCAL掲載サイト

- 求人対象 高卒、短大卒、大卒、中途
- 企業調査 会社見学、インターンシップ、OB・OG訪問、オンライン説明対応
- 採用情報 マイナビ、自社HP、会社案内請求

お問合せは TEL.023-655-5477

★ ココが魅力POINT ★

1. 最先端の自動化生産設備を「イチ」から手掛けている。
2. 充実の研修制度と、先輩によるきめ細かな指導。
3. お互いにフォローしあう、働きやすい職場環境。

# 株式会社 デンソーFA山形

製造業

00  
LEADING  
COMPANY



配属後は部署毎に研修を行い、若手の指導と育成に力を入れています。



入社2年目の社員を対象に行われる研修会の様子。グループワークや座学を通して、より深い知識やマインドを学びます。



入社直後に行われる新入社員研修の様子。社員としての心構えや、ビジネスマナーなどを学びます。

## 『山形から世界へ』高品質・高性能の自動化生産設備を提供し、お客様のモノづくりを支えます

「現場ではビジネスパートナーと仕事をする機会も多く、コミュニケーションがとって重要になってきます。気がついた点などをしっかりとアウトプットし、会話のキャッチ

「求める人材像は、自ら学び、自ら考え、新たな価値の実現に向けて挑戦し挑んでいく人材です」と話すのは、採用を担当する高橋さん。当社は若手でもとんとん挑戦できる会社ですので、失敗を恐れずに行動できる方に来ていただきたいです。また営業に限らず、設計や製造部門のスタッフもお客様と直接やりとりしながら設備開発を進めるため、「コミュニケーション能力も重要」と続けます。

「システムインテグレーションパートナーを目指して、をビジョンに掲げ、常にお客様のニーズに応えるオーダーメイドの自動化生産設備の設計・製造・販売を行う株式会社デンソーFA山形。トータルエンジニアリング企業として、プロの技術者集団が営業から設計開発・製造まで一貫して対応し、自動車関連部品メーカーを中心に、『山形から世界へ』高品質・高性能の設備を提供しています。



2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人〜ホワイト500〜」に山形県内で唯一認定されています。

「現場ではビジネスパートナーと仕事をする機会も多く、コミュニケーションがとって重要になってきます。気がついた点などをしっかりとアウトプットし、会話のキャッチ

「現場ではビジネスパートナーと仕事をする機会も多く、コミュニケーションがとって重要になってきます。気がついた点などをしっかりとアウトプットし、会話のキャッチ

「現場ではビジネスパートナーと仕事をする機会も多く、コミュニケーションがとって重要になってきます。気がついた点などをしっかりとアウトプットし、会話のキャッチ



お話しをお伺いした総務人事課の高橋ひかりさん。



■技術やノウハウを先輩社員から若い世代に確実に承継し、「プロの技術者」を育てます。■女性社員もイキイキと働ける職場環境。職場には笑顔が溢れています。■お客様のニーズに応える確かな「技術力」。■技術力を活かして作られる高品質・高性能の自動化生産設備。■全従業員が一丸となって、お客様に喜ばれる設備を提供しています。



代表取締役社長  
宗田 平吉さん

山形県山辺町出身。  
新たな業界へも積極的にチャレンジしていきたいと語る宗田社長。

### TOP MESSAGE

## お客様のニーズに応えながら設計開発を進めることが 個人・そして会社の成長に繋がる

デンソーFA山形は2018年12月より、世界第二位の売上規模を誇る自動車部品メーカー「デンソー」のグループ会社に入りました。当社で手がける設備の多くは自動車関連部品の生産設備、自動車業界では電動化や自動運転といった技術革新が進んでいますので、お客様と協力しながら設備の設計開発をしています。また、自動車関連の設備に限らず、医療や機械など新たな業界分野への拡充も進めているところです。

FA事業をスタートして以来、30年以上培ってきたノウハウや技術力をベースに、お客様の様々なニーズにオーダーメイドでお応えし、オンリーワンの設備を構築しています。これが社員の成長に繋がってきました。納品実績は19カ国145社(2021年10月現在)と、世界中に拡大しているため、日々の業務を通して常にグローバルな視点を養うことができていると思います。

私たちの仕事で大切にしているものは、なんと「人も人」です。トータルエンジニアリング企業として、プロの技術者集団が営業から設計・製造まで一貫して行なっています。次世代のエンジニアを育成し、その成長を通してモノづくりの発展にも貢献していきたいと思っています。そのためにも、当社で大きい経験を積んで成長して欲しいですね。

今後は、地元で貢献できる企業としてさらに成長していきたいです。その中心となるのが、当社で製作した将棋指しロボット「電王手板将(おうしょう)」です。地元天童をはじめとして県内の様々なイベントに出展していきたいと考えています。「電王手板将」は当社の展示ブースでいつも見学することのできることで、是非多くの学生さんに見学に来て欲しいです。

00  
LEADING  
COMPANY



会社見学を積極的に受け入れており、若手社員との懇談会では社員の生の声を聞くことができます。



電王手板将の展示ブース。2本のアームの連携により駒を運送するなどの繊細な動作を実現。



社員食堂は充実したメニューと美味しく社員にも人気。季節ごとにイベントも行っています。

## COMPANY PROFILE 会社データ

株式会社  
デンソー FA山形  
〒994-0057 天童市石鳥居二丁目1番57号  
TEL.023-655-5810 FAX.023-655-5426  
https://www.denso-fy.co.jp/



- 会社設立 / 1988年5月
- 代表者 / 代表取締役社長 宗田 平吉 ■資本金 / 3.5億円
- 社員数 / 330名 (男244名/女86名)

Business content  
オーダーメイドの自動化生産設備の設計・製造・販売

- Treatment & benefits
- 初任給 / 高校卒160,000円、短大卒181,000円、高専(本科)卒185,000円、高専(専攻科)卒・大学卒207,000円、大学院卒229,000円(2021年度実績)
  - 休日休暇 / 年間休日121日、土・日曜(完全週休2日制)、GW、夏季休暇、年末年始休暇、他
  - 福利厚生 / 健康保険・厚生年金保険、雇用保険、労災保険、退職金制度、慶弔見舞金、団体保険(生命保険、自動車保険)、財形貯蓄制度、従業員持株会、車両紹介制度 他

今を「駆ける」あの人を知りたい

## SENPai INTERVIEW

浅田 侑也さん 営業技術部 電気設計室 制御二課 (入社4年目)

### いろんな側面からの知識を身につけ

### 視野の広い設計者を目指したい

**現** 在は、自動車関連部品などを生産するためのFA設備の制御設計、デバックに関わる仕事を担当している浅田さん。デバックとは、完成した設備を動かすためのプログラムが実際に作動するか確認しながら、問題があれば修正していく作業。入社して3年間は様々なプロジェクトの一部分に関わってきたが、4年目からは立ち上げから設置までのプロジェクトにフルで携われるようになった。学生時代に学んだシーケンス制御の知識を仕事に活かしているという。

会社説明会では、地元山形から全国、世界へ向けて「モノづくり」をしているところに魅力を感じたと話します。実際、昨年は中国、アメリカへの設備搬入に同行。「自分が携わって完成

した設備が世界で稼働していることに感動しました。世界を意識するようになり、自分の仕事に対する取り組み方も変わった気がします。今はワクワク感があります。

海外出張を経て、またひとつ成長したようです。

当面の目標は、現場のリーダーになること。例えば、後輩から質問されたらすぐにアドバイスができるようになる。そして、違う角度からのアプローチもできるのでは、といった多くの引き出しが持てるようになること。将来は、制約的な知識はもちろんな、機械的な知識も身に着けろんな側面からアプローチできる設計者になりたいです。広い視野を持つために、これからも先輩の背中を追いかける日々が続きます。



新入社員の教育プログラムが充実しており、先輩社員に気軽に相談でき、真摯に向き合ってくれる雰囲気は社内にあると実感しています。

### 先輩の一日に密着 /



【デスクワーク】設備を動かすためのプログラムを組みます。【ランチタイム】社員食堂にて昼食。メニューも多く価格も安いので大助かり。【デバック】組んだプログラムで実際に設備が動くかを確認します。問題点があればプログラムを修正します。【先輩に相談】分からないことがあれば先輩に相談してアドバイスをもらいます。

### Q1 この会社でよかった!と思うことは?

ひとつの設備を製作するという大きなプロジェクトに携わっていくうちに、自分の成長を実感できることです。先輩方々はじめ親切でなんでも相談できる社風も、入社してよかったと思うことのひとつです。

### Q2 仕事のやりがいはなんですか?

設備を完成させて納入した際に、お客様より感謝の言葉をいただいた時です。中国やアメリカまで納入しに行った経験は世界規模のグローバル企業であることを肌で感じることができ、より責任感が強くなりました。

### Q3 将来の夢はなんですか?

制約的な知識はもちろん、機械的な知識も身につけ、制約的な側面、機械的な側面のどちらからでもアプローチできるような視野の広い設計者を目指すことです。